

リーダーにとって「言行一致」とは？

こちらは、英文記事「[What does it mean for leaders to “walk the talk”?](#)」（2020年4月22日付）の和訳です。

乗組員の業務に対する姿勢には、社内のリーダーシップの在り方が色濃く反映されます。どの船でも、「安全第一」と、ひときわ大きく書かれていることでしょう。しかし、重要なことは大きく書くことではなく、経営層が安全に対してコミットすることです。



船上での安全を確保するため

に作成された安全管理システムにいくら方針や手順が適切に記載されていても、経営トップ層のコミットメントがなければ、適切に実施される可能性は低いでしょう。

ISMコードの前文には、「優れた安全管理の基礎はトップのコミットメントから始まる。安全と汚染防止において結末を左右するものは、あらゆるレベルの個人のコミットメント、能力、態度、動機である」と記載されています。

Phil Anderson 教授は、自身の著書『ISM Code: A Practical Guide』の中で「リーダーシップとマネジメント」について触れています。同教授は、経営トップがコミットメントを示せば、船員・陸上スタッフ全員がそれを意味あるものと受け止めるはずであるとしています。そうすることで、部門長、ライン長、監督者、船長、機関長、全乗組員が、リーダーに倣い、日常業務で安全に対してコミットするように動機付けされるのです。「言行の一致」とは、自分の言葉、行為（あるいは不作為）、意図がどのような結果につながるかを理解する、リーダーに求められる能力です。

追加情報

損失防止ポスター:[Walk the talk \(相手に伝えたことを確実に実行しましょう\)](#)

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。